

政策対話委員会

2018 年度 政策対話委員会活動報告

I. 政策対話委員会メンバー

委員長： 村田俊典（双日ブラジル）
副委員長： 佐久間太郎（双日ブラジル）
櫻井淳（ブラジル三菱商事）
芦刈宏司（ブラジル三井物産）
二宮康史（JETRO サンパウロ）
委員： 大塚未涼（ブラジル三井物産）
山本祐也（JETRO サンパウロ）
柳本安紀（双日ブラジル）

事務局： 事務局長 平田藤義
調査員 吉田章則

II. 活動方針

1) 日系企業のブラジルへの投資促進および企業経営上発生する問題解決を支援する為、以下の行動指針に基づき、規制改善に向けた活動、ならびに当会議所の基盤・体制強化を行う。

- ① 日本企業の進出支援の為のブラジル政府との政策対話の推進
- ② 問題解決・規制改善に向けた活動
- ③ 官民合同会議との連携

2) 本委員会は、傘下の 4 ワーキンググループ (WG)（「課税・通関」(活動の効率性の観点から年度後期より統合)、「労働」、「産業競争力強化・中小企業育成」、「インフラ」）の運営ならびに本委員会活動に係わる両国政府・産業界との調整に当たり、又、予算管理を含む活動全体のコーディネーションを一元的に行う。

3) 2019 年に新政権の発足を控えた現在のブラジルの政治環境を受け、2018 年度の本委員会活動は、体系的な政策対話を目指した、当会議所内の体制構築、外部官民組織との連携強化に注力する。

- ・ 直近での制度変更、マクロ環境の変化を考慮した、提言書(AGIR/さらなる投資実現に向けた行動計画)の見直し。労働法など、改正法導入後の運用面での課題を洗い出し、更なる規制改善へ向けた提言項目の追加、修正を行う。
- ・ ブラジル、日本、第三国の官・民組織との継続した連携活動、関係の強化。日伯二国間における経済交流促進を目的とした、官・民協議会への積極的な参加と活動支援、ブラジルを含む複数国で構成される地域統合体と日本国間での国際協定締結へ向けた協議に関しては、日伯経済委員会と連携し、積極的に支援す

る。

Ⅲ. 2018 年度活動報告

平成 29 年度「中小企業海外市場開拓事業費補助金（新興国市場開拓事業ロビイング活動支援事業）」による補助金支給は 2018 年 3 月を以て終了。4 月以降、政策対話委員会として自走体制へ移行。大幅な法改正のあった労働分野を含め、マクロ環境の変化を考慮した提言書(AGIR/さらなる投資実現に向けた行動計画)の見直し、そしてカンパ会員企業に広く裨益が期待できる勉強会等の活動を中心に据えサステイナブルな活動体制をとっている。又、3 月には、伯経済交流促進委員会、企画戦略委員会と共に日メルコスール EPA の推進へ向けたタスクフォースを立ち上げ。以後、カンパ内外からの講師を招き、勉強会や対外的な意見交換会を開催した。以下、年度を通した、政策対話活動、WG 会合等をまとめる。

1 月

(10 日・労働 WG 会合) ブックレット「ブラジル労働法のポイント」の進捗確認、並びに民法改正に関する意見交換を行った。

(23 日・政策対話/インフラ WG) 社会経済開発銀行(BNDES)のリデフィニエロ本店を訪問、BNDES との政策対話会合にて AGIR 提言を行った。

(31 日・課税 WG 主催セミナー) 「移転価格税制と OECD に関する説明会」をパウリスアラザホテルにて開催。170 名が参加。

(31 日・労働 WG 会合) ブックレット「ブラジル労働法のポイント」（日本語・ポルトガル語、各 68 頁、500 冊）を発行。

2 月

(9 日・政策対話委員会会合) 2018 年の委員会の活動方針、2018 年の予算申請について意見交換を行った。

(21 日・22 日・労働 WG 会合) 「ブラジル労働法のポイント」セミナーを開催し、ブックレットを配布した。2 日間 70 人以上が参加した。

3 月

(13 日・労働 WG 会合) 政策対話活動予算や WG の活動方針等について報告と協議が行われた。

(16 日・政策対話委員会) 第 1 回日メルコスール EPA 準備タスクフォース会合、共同主催。

(28 日・政策対話委員会) 在伯大使との EPA に関する意見交換会に出席した。

4 月

(9 日・政策対話委員会) 日メルコスール EPA 準備タスクフォース会合第 3 回、共同主催。

(11 日・労働 WG 会合) AGIR アップデートへ向けた意見交換(第 1 回)。労働改正法による変更、現状の運用状況、残された課題について意見交換を行った。

(19 日・インフラ WG 会合) AGIR アップデート作業、インフラ協力会合に向けた提言についての意見交換会を開催した。

5 月

(3 日・労働 WG 会合) AGIR アップデートへ向けた意見交換(第 2 回)

(7 日・政策対話委員会) 政策対話委員会の進捗と今後の活動についてカンパ事務

局と意見交換。

(15日・政策対話委員会) 日メロコスール EPA 準備タスクフォース会合第4回、共同主催。

6月

(7日・インフラ WG 会合) AGIR 提言書のアップデート最終確認。「第二回日伯インフラ協力会合に向けた作業小部会」での政策提言に向けた準備会合。

(12日・労働 WG 会合) AGIR アップデートへ向けた意見交換(第3回)

(14日・政策対話委員会) 日メロコスール EPA 準備タスクフォース会合第5回、共同主催。

(20日・政策対話委員会/インフラ WG 会合) 「第二回インフラ協力会合に向けた作業小部会」に政策対話委員長・インフラ WG 会合メンバーが出席、AGIR 提言等を行なった。

7月

(3日・政策対話委員会) 日メロコスール EPA 準備タスクフォース会合第6回、共同主催。

(4日・課税・通関 WG) 通関 AGIR 提言アップデートを JETRO に提出。JETRO 経由で関税局・税関に、要望の精査を依頼。7/12日には JETRO からのコメントを拝受。

(13日・課税・通関 WG、労働 WG 会合) 政策対話委員長と、各 WG 長との打ち合わせ会合を行った。

(31日・労働 WG 会合) 2018 年後半の労働 WG 運営方針について、活動目的や内容について意見交換会を行った。

(31日・労働 WG) 「新移民法の概要」セミナーを実施。会員企業 55 名が参加。

8月

(8日・政策対話委員会) 日メロコスール EPA 準備タスクフォース打ち合わせ会合を実施

(15日・産業競争力強化・中小企業育成 WG、インフラ WG) 産業競争力強化・中小企業育成、インフラ WG 長と打ち合わせ会合を開催した。

(21日・労働 WG) 幹部会合開催。メンバー間の連携活動として、テーマを拡大して情報共有をしながら、勉強会等も開催していくことで合意。

(27日・課税・通関 WG) 課税・通関 WG グループ長後任について議論した。

9月

(4日・課税・通関 WG) コンサル担当者と課税 AGIR 政策提言アップデートの打ち合わせ会合開催

(8日・政策対話委員会) 外務省の林参事官来聖、日メロコスール EPA 準備タスクフォースが中心となり EPA について意見交換

(11日・労働 WG) 「2018 年 10 月大統領選挙」をテーマに議論、討論を行なった。

(13日・政策対話委員会) 日メロコスール EPA 準備タスクフォース打ち合わせ会合を実施

(17日・通関 WG) 課税・通関 WG は、今後の活動についての打ち合わせ会合を開催した。

(21日・政策対話委員会) 日メロコスール EPA 準備タスクフォース第7回会合、共同主催。

(27日・政策対話委員会) 日メロコスール EPA 準備タスクフォース打ち合わせ会合を実施

10月

(11日、15日・労働 WG) 担当者打ち合わせ会合。企業内安全担当者として、領事館や安全対策チームと連携して、安全をテーマにした WG 活動について意見交換。

(15 日・課税・通関 WG) 通関業者打ち合わせ会合。

(16 日・課税・通関 WG) 課税 AGIR 政策提言アップデート、また今後の活動計画についての打ち合わせ会合を開催した。

(18 日・インフラ WG) インフラ WG 会合を開催。6 月にブラジルで開催された「第 2 回日伯インフラ協力会合に向けた作業小部会」のフィードバックや次回会合についての説明が行われた。

(25 日・政策対話委員会) 日メルコスール EPA 準備タスクフォース第 8 回会合

(30 日・課税通関 WG) 課税・労働 WG は、今後の課税・通関 WG 活動計画についての意見交換が行われた。

11 月

(12 日・労働 WG) 「安全」をテーマに、総領事館の強力を得て、総務委員会安全対策チームと合同で会合開催。11 月 29 日・議論まとめをサイトに掲載。

(7 日・課税・通関 WG) 貨物を輸入する際の通関課題におけるアンケート調査実施

12 月

(4 日・課税通関 WG) 課税・労働 WG の具体的活動について、意見交換を行った。

ブラジル通関入門－輸入取引」セミナー開催。2 セッション実施、各 50 名以上参加。

(4 日・課税通関 WG) 課税・通関 WG 主催による「ブラジル通関入門－輸入取引」セミナーを実施。

以上。